

報 告 書

事業名称	第 29 回大学・専門学校訪問研修会（神戸方面）
開催日	令和 6 年 10 月 18 日(金)、19 日(土)
開催場所	(18 日) 神戸学院大学、関西学院大学、神戸電子専門学校 (19 日) 武庫川女子大学、大和大学
報告者	進路指導委員会委員長 山本 睦

今回、「進化を続ける学校シリーズ」というテーマで5つの大学訪問を行いました。紙幅の関係上、最も印象に残った「大和大学」について報告します。大和大学は、CM で「東の早慶、西の大和」という大胆なキャッチコピーを掲げ、開学からわずか 10 年で 6 学部を擁する大学へと成長を遂げています。

この大学は、奈良の進学校・西大和学園を運営する西大和グループによって設立されたこともあり、学びのスタイルが進学校的であると感じました。一人ひとりの適性や希望に応じたカリキュラムが組まれており、従来の大学とは異なる柔軟で実践的な学びが提供されています。遊びたい学生にとっては厳しく感じるかもしれませんが、手厚い就職支援が用意されており、社会に出る準備を万全に整えられる場としての魅力を肌で感じました。

また、大和大学は単なる知識の習得にとどまらず、社会や地域で活躍できる実践力を養うことを重視している点も特徴的です。学生同士が切磋琢磨しながら成長できる環境が整っており、将来を見据えた教育が行われていると実感しました。私の学生時代の大学は「自ら学びたいことを学ぶ場所」という印象でしたが、現在の大学は、大学側からも積極的に学生にアプローチし、学びをサポートしているように思います。

AI 技術が発達していく中で、単なる知識の暗記や反復作業は AI によって代替される可能性が高まっています。そのような時代において、大学の学びは「自ら考え、創造し、社会に貢献できる力」を育むことが重要に

なります。大和大学のように、学生一人ひとりの適性に応じた教育や実践的な学びを提供することは、AI に使われるのではなく、AI を使いこなす人材を育てるために不可欠な取り組みだと感じました。今後の大学教育には、知識の蓄積にとどまらず、創造力や応用力を養う環境の整備が求められるでしょう。

